

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。

本邦心大血管リハビリテーションの問題点の抽出と対策の検討（JROAD-CR）2次解析：ST上昇型心筋梗塞患者におけるrisk評価スケールGRACEスコアに心臓リハビリテーションを組み込んだ長期予後評価モデル（GRACE-CRスコア）の構築

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年1月1日～12月31日までに日本循環器学会が毎年循環器専門研修施設・研修関連施設を対象に実施している「循環器疾患診療実態調査（JROAD）」で収集され一次解析研究 JROAD-CR データベースに登録された ST 上昇型急性心筋梗塞で入院し生存退院した患者さん

2. 研究目的・方法

昭和医科大学藤が丘病院を含む多施設共同研究として実施された「本邦心大血管リハビリテーションの問題点の抽出と対策の検討（JROAD-CR 研究：本学承認番号 J221011-1）」では、改めて ST 上昇型心筋梗塞（STEMI）患者における心臓リハビリテーションによる有効性が報告されました（Eur J Prev Cardiol. 2026）。

JROAD-CR 研究とは、大規模な DPC（包括医療支払制度）データと別途実施する日本心臓リハビリテーション学会研究グループ（JROAD-CR グループ）による予後を含む調査データを突合するデータベースを作成し、心臓リハビリの量や質による急性心筋梗塞患者の予後改善効果を確認するとともに、保険診療における妥当性などに関する問題点（費用対効果など）を抽出し、それらを検証することを目的とした後ろ向き登録研究です。

本研究では、この一次解析で用いられた JROAD-CR データベースを2次利用し、以下を目的とします。

- ② ST 上昇型心筋梗塞（STEMI）患者さんにおける GRACE スコアの予後予測能を検証
- ② GRACE スコアの重み（1点あたりのリスク）を基準として、入院心臓リハビリおよび外来心臓リハビリをマイナス点として加えた新規リスクスコア（GRACE-CR スコア）を構築
- ③ 本スコアが6か月のみならず1年のみならず5年後の長期予後をどの程度予測し得るかを検討し、CR 実施の有無を「リスク評価因子」として位置づけることにより、心臓リハビリの実装を更に普及させる。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年 3月 31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

JROAD-CR 研究データベースに含まれる臨床データ、検査データ、画像データなどです。

5. 外部への試料・情報の提供

該当しません

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学藤が丘病院 循環器内科 礪 良崇

既存試料・情報の提供のみを行う機関

福岡大学 心臓・血管内科学 三浦 伸一郎

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院 循環器内科 氏名：礪 良崇

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号：045-971-1151（代表）